

[通常機体] リ R 「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」

リ・ガズィ

機体名	リ・ガズィ	画像
型式番号	RGZ-91	
英語名	Re-GZ	
所属	連邦軍	
パイロット	アムロ・レイ ケーラ・スゥ	
装甲材質		
MS 形態装備	ビームサーベル 60mm バルカン砲 グレネードランチャー ビームライフル	
B.W.S. 装備	ビームキャノン×2 大口徑ビームキャノン	
作品名	機動戦士ガンダム 逆襲のシャア	
参考書籍	ガンダムメカニクス G ジェネレーション FGUNDAM WAR 革新の波濤 地球連邦軍 U-116	

内容

ガンダムメカニクス

MSZ-006 Z ガンダムの量産機を目指してアナハイム社が開発した試作 MS。

機体名称は「リファインド・ガンダム・ゼータ」の略名である。

機体の変形は、MS 本体の変形機構によらず、追加装備であるバック・ウェポン (B.W.S.) に全てを依存する方式を採用している。

この方式では、MA 形態から MS 形態への変形時に B.W.S. を除装する必要があるため、逆の移行は不可能となっている。

運動性、長距離巡航能力、火力、総じて高性能な機体である。

しかしコスト面で折り合わず、量産化は見送られている。

G ジェネ : MS 形態

連邦軍の攻撃用試作型 MS。

グリプス戦争時の名機「ガンダム」を量産型として再設計した機体である。

生産性向上のために変形機構は廃止されているが、バックウェポンシステムを装着することによって MA 形態になることができる。

変形機構を廃止したため機体の耐久力は向上しており、スペック的にもガンダムに匹敵する高性能機となっている。

しかし依然としてコストが高く、結局量産計画は中止されている。

試作機 1 機が Rond・ベル隊に配備されたがネオ・ジオン軍の新鋭 MS に対しては性能不足が否めなかった。

なお名称は「リファイン・ガンダム・ゼータ」に由来している。

G ジェネ : MA 形態 (B.W.S. 装備)

リ・ガズィがバックウェポンシステムを装着して MA 形態となったもの。

火力・運動性・長距離巡航性等が格段に向上しており、量産機とは思えない性能を持つ。
しかし MS 形態への移行時にシステムを除去するため、MS 形態からの再変形は行えない。

GW

連邦軍の試作 MS。

バックウェポンシステムの装着により、MA 形態として運用が可能。

備考

スペック

項目	内容
全高	
頭頂高	20.5 m
全長	
本体重量	24.7 t
全備重量	55.2 t
ジェネレーター出力	2550 kw
スラスタ総推進力	67600 kg
スラスタ推力	14200 kg × 211000 kg × 28600 kg × 2
アポジモーター数	20
センサー有効半径	14200 m ? 18900 m ?